

# JENESYS2.0及び北米地域との青少年交流

## 目的・意義

- 日本経済の再生に向けて、我が国に対する潜在的な関心を増進させ、**訪日外国人数の増加**を図る。
- クール・ジャパンを含めた我が国の強みや魅力等の**日本ブランド**、**日本的な「価値」への国際理解を増進**。

## 経済効果等

- 実施段階の被招へいの国内消費（予算額の8割程度）とともに、これに伴う国内経済への波及効果が見込まれる。
- 被招へい者の帰国や派遣事業を通じた発信の結果、旅行者が順次増大し、経済的効果が継続的に現れると見込む。
- **効果測定**については、新設した「アジア青少年交流室」の下、以下の取組を徹底。
  - ✓ 各在外公館に**青少年交流担当官**を指名。参加者情報の管理及び事業の進行管理等の**ガバナンスの強化**。
  - ✓ **外部有識者評価制度を導入するとともに、その意見も取り入れつつ具体的な数値目標を事前に設定**するなど**フォローアップや効果測定を強化**。

## 事業概要

【対象】 中学生，高校生，大学生等

【規模】 約35,000人 [アジア大洋州（約30,000人），北米地域（約 5,000人）]

【予算】 150億円

### 【プログラム構成】

観光庁や地方自治体等の関係機関と連携の上、経済効果が最大限発現できるよう、以下の要素等を盛り込む。

- ① 我が国企業の製品・技術等の優位性に関する広報も兼ねた日本企業視察等。
- ② 外国人訪問者の誘致に積極的な地方自治体への訪問。
- ③ 歴史的建築物・世界遺産、最先端技術の展示施設訪問等の日本ブランドの体感。

